

摂食嚥下を語る「つばめの会」第10回



～超急性期からの実践を考えよう～

“食べること・飲むこと”について語る「つばめの会」（代表者：横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻・教授・千葉由美）を2015年10月から開催し1年が経ちました。

今年度は、摂食嚥下に関するアップデートし、摂食嚥下リハビリテーションの正しいケアの選択、不要なケアの見分け方を理解することを目的で行おうと思います。

こちらの勉強会では、摂食嚥下障害を有する方々に対して早期・継続的医療介入を実現するために、専門的知識や技術、さらには、関係論文の紹介、実践・症例報告、学会報告など、幅広い学習をする場になるよう考えています。また、臨床で困ったことなどの相談もお寄せ頂けるよう考えています。

摂食嚥下障害を有する方に接している実践者の方でしたら、どなたでも参加可能です。お気軽にご参加くださいますと幸いです。

【日時】平成28年10月18日（火）19時～20時30分

【場所】横浜市立大学附属病院 10階修士会議室

1 講義： 地域広域ネットワークを広げよう

～嚥下障害の多職種・地域連携による実践的な対応～

講師：西山耕一郎 先生

西山耳鼻咽喉科医院院長、日本気管食道科学会評議員、日本嚥下医学会評議員
日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会理事嚥下委員会委員長、他

*横浜市立大学非常勤講師、東海大学非常勤教授、北里大学非常勤講師、
藤田保健衛生大学客員准教授としてもご活躍です。

2 質疑応答

質疑応答では、勉強会での学びを含め、実践の場での多くのご意見をお聞かせください。

*参加希望の方は、資料等の準備のため、10月14日（金）までにご連絡を頂ければ幸いです。

参加費：300円（資料代金100円含）

当日徴収します。おつりのないようお願い致します。

【スキルアップアイテム】*下記内容についてシリーズで取り上げてまいります。

問診、ベッドサイドスクリーニング（RSST：repetitive swallowing test、MWST：modified water swallowing test、FT：food test、咳テスト等）、評価（VF：videofluorography、VE：videoendoscopy等）、直接訓練・間接訓練（気道保清、呼吸訓練、Shaker訓練、食物物性調整、positioning等）、2次合併症管理（誤嚥性肺炎、VAP：ventilator associated pneumonia、長期挿管によるインシデント等） 他

【問い合わせ先】 代表者：千葉由美（横浜市立大学大学院がん・先端成人看護学

摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、横浜市立大学附属病院 NST 所属）

*電話/FAX：045-787-2564 (DI) ychiba@yokohama-cu.ac.jp

作成教材・ナツグス刊「摂食嚥下ケアのための基礎と実際」動画講義

・ビデオに基づいた摂食・嚥下障害のケア ・VF実践ガイド等

事務局担当：富井ルミ（横浜市立大学附属病院 ACU 病棟勤務

摂食嚥下障害認定看護師・NST 所属）

*enge_tom@yokohama-cu.ac.jp または院内メール

